

サービスの生産性向上！ Improve your service productivity.

日本再生の緊急課題は日本のサービス業の生産性の向上です。日本の GDP の 25%を占める製造業の生産性は世界トップレベルですが、GDP の 73%を占めるサービス業の生産性の国際競争力は、30 位程度とまだまだ低迷しています (GDP 比率は 2008,内閣府・国民経済計算による)。

(株)グローバルプランではサービス業の生産性を向上することこそが日本の国際競争力強化の鍵であるとの認識から、サービス業の職場に出向いて労働生産性を向上するための強力なセミナーを実施しています。

セミナー参加者は、大企業や中小企業の中堅・幹部社員、経営者など、2003 年に開始して以来、累積 2500 人を超えるところまでできました。具体的には確かな自由意志をもつ個人が数人のグループを形成し、現場を知る目で自らが身の回りの問題を発掘し、人間尊重、全体観、協調を柱とする理念を十分に理解しつつ、改善を図り、その経緯・結果を全グループで共有し、さらに、その問題解決の事例を全社的に横展開・共有します。ポイントは、人間尊重の基本となる自主性、4-5 人の小グループ活動、現場の視点、そして確かな理念、継続です。現場といっても、一般社員、管理職、幹部社員、役員、さらに、それぞれの現場を含む全社的な取り組み、まさに全体観、協調による取り組みです。無論、子会社、関連企業からの参加者も多くおられます。

この作業を半年毎に繰り返しながら、徐々に大きな問題に自主的に取り組んでいます。セミナー講師は人間尊重、全体観、協調などの理念を繰り返し説明し、また個々の取り組みへのアドバイスをさせていただいています。

サービスの生産性を向上することの重要性は米国では殆んど経営大学院で講義され、いまではペンタゴン、米海軍、病院、金融すらを巻き込んであらゆるサービス産業に浸透し高い労働生産性を実現する原動力になっています。しかしこの事実は日本では殆んど報道されず、製造業を重視し、技術立国を標榜してきた日本ではサービス業の生産性の向上の重要性は未だに認識されていません。日本の経営大学院にはいまだにサービスの生産性向上の講義もほとんどありません。

セミナー実施の主体は、カリフォルニア州立大学名誉教授、前青山学院大学経営大学院教授の吉田耕作先生を理事長、弊社代表を副理事長とするジョイ・オブ・ワーク推進協会 <http://joy-of-work.com/> です。



2009 年 1 月 社員 8000 人のソフト企業の役員会議室でのサービスの生産性強化のセミナー
Competitiveness Seminar in an executive room of a service provider with 8000 employees, Jan. 2009.



•2014年3月01日 ジョイオプワーク推進協会 CDGM ストーリー発表全国大会開催:ボーナス18カ月の中小企業も! 日経新聞 日経BPほか取材に